

各 位

株 式 会 社 光 彩 工 芸
 代 表 取 締 役 社 長 深 沢 栄 二
 (J A S D A Q ・ コ ー ド 7 8 7 8)
 問 い 合 せ 先

社 長 室 長

吉 田 貴

TEL 0551-28-4181

特別損失の計上及び通期業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 1 月期において、下記のとおり特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。また、平成 27 年 9 月 14 日に発表しました平成 28 年 1 月期の通期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社グループは、構造改革プロジェクト (Structure Reforming Project「SRP」) を通じて、収益構造の分析及び不採算事業の見直しを行っております。「SRP」の一環として、当社グループ赤字の原因となっている一般加工技術による生産・販売から撤退するとともに、撤退に伴い発生した費用を事業所整理損失として 63 百万円計上いたしました。

2. 平成 28 年 1 月期の連結業績予想との差異

(1) 通期 (平成 27 年 2 月 1 日～平成 28 年 1 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 予 想 (A)	2,600	△145	△140	△170	△45 円 38 銭
今 回 修 正 (B)	2,558	△79	△79	△148	△39 円 53 銭
増 減 額 (B - A)	△42	66	61	22	
増 減 率 (%)	△1.6	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 1 月期)	2,800	△24	△18	△66	△17 円 86 銭

(2) 差異の理由

売上高については、ほぼ予想通りの結果となりました。

利益面については、当社の主力事業でありますジュエリーパーツ事業においては特許商品などの新アイテムの拡販、国内・国外の新規販路の拡大などにより堅調に推移いたしました。

また、完成品 (ジュエリー) 事業においては赤字要因である一般的な完成品 (ジュエリー) の生産・販売から撤退する一方、当社の独自加工技術を生かした完成品 (ジュエリー) について重点拡販を行ったことにより、完成品 (ジュエリー) 事業全体の収益性は改善傾向となり、営業利益・経常利益・当期純利益ともに予想を上回る結果となりました。

以 上